



鳥羽市役所
ISE-SHIMA NATIONAL PARK TOBA

Press Release

報道機関 各位

令和4年8月29日（月）

【照会先】 鳥羽市観光課 担当：村田

三重県鳥羽市鳥羽3-1-1

Tel0599-25-1155 fax0599-25-1159

教育旅行の誘致をメインターゲットとしたパンフレット

「鳥羽のSDGsまなびック」について

このたび、鳥羽で学ぶことができる、また、鳥羽ならではのSDGsの考え方を整理し、体験プログラムメニューを紹介するパンフレット「鳥羽のSDGsまなびック」を作成しましたので、ご紹介します。

(世界や人々の変化)

近年、新型コロナウィルス感染症の拡大や毎年発生する気候変動による災害の発生等により、人々の価値観やニーズは変化しています。具体的には、テレワーク等の働き方の多様化や環境や持続可能なまちづくりといった関心が高まっています。また、旅行者においても同様で、旅行先の環境や社会に負荷を与えない持続的な観光を選択する傾向にあります。

また、背景として2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際開発目標である「SDGs」は、国内外問わず個人から企業、行政など地球全体として取り組むべき目標として、年々重要性を増してきています。

(学びの場として選ばれる鳥羽市)

鳥羽市をふくめた伊勢志摩地域は修学旅行をはじめとした教育旅行の目的地として選ばれ、関西方面や中部方面から多くの子どもたちが訪れる地域となっています。

近年、コロナ禍で鳥羽市全体の観光入込客数は大きく落ち込んでいるものの、学生団体入込客数（小学校～大学・専門学校）は令和2年と令和3年の2年間は前年比より増加傾向にあります（参考：令和元年57,172人、令和2年83,996人、令和3年124,951人）。その理由として鳥羽市は、鳥羽水族館やミキモト真珠島、鳥羽市立海の博物館といった海に関する施設が海岸線沿いを中心に立地しており、実践的に体験できる学びの場があるということが強みであると言えます。

(古くから海や自然をしてきた鳥羽市)

海にまつわる施設が多い背景には、古くから海女文化をはじめとして、伊勢湾の海の恵みである漁村文化や食文化、特色ある祭りや海城に分類される鳥羽城といった歴史文化、伊勢志摩国立公園としての自然風景があることが重要なベースになっているといえます。



(鳥羽で学べる SDGs)

鳥羽では観光をはじめ様々な分野で SDGs の取り組みが行われていますが、個々として取り組んではいるものの、これまで地域一体として取りまとめた情報がなかったことから、今回鳥羽で学ぶことができる SDGs を「社会を支える」「経済の循環」「環境を守り、活かす」という 3 つの柱で整理し、パンフレットとして取りまとめました。

主なターゲットとして、修学旅行などの教育旅行を想定しており、SDGs を学ぶための実践的な学びの場として鳥羽が選ばれることを目的としています。

そして、旅行者が鳥羽での SDGs を体験し、各地域へ戻った際に、鳥羽での学びや気付きを基に SDGs の取り組みを実践するきっかけとなるよう思いを込めて本パンフレットを作成しました。

パンフレット内容構成

名 前：鳥羽の SDGs まなびック

ページ数：全 8 ページ（表紙及び裏表紙含む）

内 容：鳥羽で学べる SDGs の考えを社会、経済、環境で整理。具体的な体験プログラムを紹介するパンフレット

印刷部数：3,000 部

活用予定：小・中・高校の教育旅行を中心として、企業研修、行政視察の誘致として活用予定

構 成：以下の通り

P	概要	内容
P1	表紙	佐田浜港の航空写真をはじめとして、海女や浦村町の漁村風景、具体的な体験の写真を掲載
P2	鳥羽市概要	鳥羽市の概要と鳥羽で学べる SDGs の概要
P3	鳥羽で学ぶ SDGs についての紹介	鳥羽の SDGs の 3 本柱の整理 「社会を支える」「経済の循環」「環境を守り、活かす」
P4		社会を支える（主な事例紹介）
P5		経済の循環（主な事例紹介）
P6		環境を守り、活かす（主な事例紹介）
P7	体験一覧	体験プログラムの一覧表、詳細な体験プログラムの内容は QR コードにて紹介する仕組み（現段階では 31 の体験を紹介、今後更新していく予定）
P8	裏表紙	体験メニュー場所を示した鳥羽市マップ、広域マップ

インターネット上での公開

鳥羽市観光協会のホームページからパンフレットの内容と体験プログラムのメニューを閲覧することができます（パンフレット P7 に QR コードあり）。ホームページの URL は以下の通り。

<http://www.toba.gr.jp/news/10632/>

その他

本事業は令和 3 年度 9 月補正事業で令和 4 年度へ繰越を行った「観光周遊促進プロモーション事業」で作成した冊子です。